

第七中学校校区CS事務局だより

R02. 1.15

令和元年10月より導入した表記コミュニティースクールですが、この間2回の運営協議会を開催し、12月、第2回学校運営協議会にて「目指す子ども像」を決定しましたのでお知らせ致します。なお、この「目指す子ども像」の決定に際しまして、保護者の皆様、PTA役員の皆様、地域関係者の皆様にアンケートを実施しましたところ、半数を超えるご回答を頂きましたことに心より感謝致しますとともに、改めて愛国・大正地区の皆様の教育に対する関心の高さと、地域の情熱を痛感しているところです。引き続き表記コミュニティースクールに対しましてご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

目指す子ども像

「ふるさとでの功しを引き継ぎ、
自ら未来を切り拓く子ども」

【表す意味】

◎この地を生きた先人の功績や努力と、ふるさとで身に付けた様々なよさを引き継ぎ、自らどんな困難にも負けず、自分が進む道を切り拓いていくことのできる子どもを、学校、家庭、地域が一体となって育成していく。

【皆様へのお願い】

コミュニティースクールは、これまで以上に学校、家庭、地域がともに協働し、子どもたちが生涯にわたる社会生活や、より主体的な社会参画、その後の専門的な学びのために必要となる資質や能力を育むための手段です。これまで各学校が行ってきた特色ある教育活動を最大限に尊重しながら、この地域で生きる子どもたちを上記「目指す子ども像」を学校、家庭、地域で共有し、同じ思いをもって子どもを育てていくことが重要です。もちろん各学校では、上記「目指す子ども像」を念頭においた教育活動を展開して参ります。各ご家庭や地域でも同じ思いをもって子どもに接し、温かく育てていただきますように心よりお願いいたします。

「目指す子ども像」アンケート集計結果

【校区児童・生徒のよさ】

- 相手の目を見て挨拶ができる。(多数)
- 何事も素直に真面目に取り組む。(多数)
- 決まりを守ろうとする生徒が多い。(多数)
- 明るくやさしい性格の子が多い。(多数)
- 率先して働く。人の話を素直に聞ける。(多数)
- 小規模校のレスポンスの良さを十分に発揮し子供たちの学習や体験から得る知識や選択肢の幅を広げている。
- 優しい心を持っており、争いが少ない。男女の仲が良い。
- 行事や学習への主体性が高くのびのび成長している。
- 地域に住む者として、特に小学生が地域行事に参加をしてもらって、地域住民との交流があり、感謝をしています。市がコミュニティスクールを言い出す前に、既に実践していたと考えています。
- 自然の中で育った純粋さがある。(多数)
- 地域との絆が強く、地域が子供を見守り、子どもたちが地域を身近に感じている。
- 小さい頃から地域の行事や家族ぐるみでの関わりが多い為か、良い意味で大人慣れしている(物怖じしない)お子さんが多い気がします。小学校高学年～中学生ともなると友だちの親や近所のおじさんおばさんなど避けがちになる頃かと思いますが、大正地区のお子さんはそういうこともあまりなく地域の行事にも参加してくれたり顔見知りだと挨拶してくれたりするところが良い所だと思います。
- 子どもたちに目が行き届き、「取りこぼし」になる子が少ない。
- 地域住民としての意見ですが、七中が地域活動の重要な象徴の一つとして様々なサポートがあると思います。しかしその反作用として、学校として生徒や保護者の他に地域への説明や意見交換の場の増加によって学校先生達の負担はもはや飽和状態でないかと心配もしています。最近の全国ニュース(神戸の学校の件等々)で話題になった学校内の道徳的問題に対しては、確かに「地域の中の学校」システムが予防や問題解決の重要なアイテムとして理解もしています。今後学校活動と地域活動の繋がりの中で生徒本位の体制を構築する努力を時代に合わせて続けていくことが大切だと感じています。
- 学年間の交流が自然体で行われている
- 人数が少ないため、先生との密な関係もでき、学力向上にもつながっていると思う。
- 地域の特色をいかした行事がある。

- 昔から知っている子ばかりで、いじめもなくお互いのことをとても理解している。
- 些細な口げんかはあるかも知れませんが、深刻ないじめはないと思います。
- 心配しなくても大丈夫だと思います。
- 接点が少なく、わからない。
- 上級生が下級生の手助け、世話をすることが多く、学年や性別を超えて仲良くできる。また、地域の人との関わり、触れあう機会がある。
- 大正小の運動会を拝見したのと、通学している子どもたち、子どもみこしの時ぐらいしか子どもたちを見ることのないのでよく分かりませんが、運動会でも子どもみこしでも楽しそうにやっているのが印象的でした。話しかけてきたり、話しかけてもいろいろ答えてくれたり素直な感じがしました。

【校区児童・生徒の課題】

- 自主性、自律性、発想力が足りない。(多数)
- 視野を広く持つこと(多数)
- 自分で決めたり、行動したりする気持ち 目上の人、同世代、年下など、さまざまな
- 必死さ、貪欲さ、効率のよさが足りない。
- 大きい集団による経験知が得られづらい。
- 中学校までは大正地域で生活したり勉強していますが、高校になると大正から離れますのでもう少し小さい時から学区が変わったりして多少の免疫などを持つことができれば、なおさら良いように思います。
- 困難に立ち向かう強い気持ちが足りない。今の自分を受け入れて自分を好きになることができている。自分が周りから愛されていることに感謝することができない。
- 特にこれといった課題はないと思う。
- 小集団のため多様な考え方が生まれず、考えの違う人との関わり方が苦手。
- 大正町という閉塞的な空間や、生徒数が少ないことから狭い社会しか経験できないところ。先が見通せない。他人任せに考えがちなところ。
- 家族、親、友人、先生、学校、地域、街、市、道、国を愛すること。特に祖国、我が国を「この国」と表現するような人にはなってほしくありません。
- 他人の意見を尊重する。
- 自分の考えを言葉にして伝えることが苦手だと感じる。自分で考えて行動することが苦手だと感じる。一つひとつどうしたらよいか、指示を待つことが多いと感じる。
- 消極的な子が多いように感じる。言われたことはしっかりできるが、自分で考えて行動する子が少ない気がする。
- 友達関係が、狭くなりがちなところが心配。
- クラスの人数が少ないので、人間関係の固定化、序列化されてしまう。(親も子も)
- 保護者の子どもへの関心が高いため、甘やかされて育っている。(良い所でもある)

- 新年度からカリキュラムの増で、地域行事の参加が難しくなってきたと聞いています。何とか知恵を絞ってよい結果がほしいと考えています。ただ、勉学に支障のない範囲のことです。
- 自ら一生懸命考え、行動する力。積極性と自己肯定感が低いこと。
- 地域の方とのつながり。接触する機会のある人間が限られている。善い人間、悪い人間の幅も狭い。広い世の中に出た時に騙されやすそう。悪意に対して鈍感。
- 自己主張が弱い面がある。(主張しなくても、多くの機会が与えられているので、待っていても意見が言えると思っている。)
- 児童数が少ないと競争心が薄れるのが気がかりかもしれません。

【校区児童・生徒に期待する姿】

- 自立に向けて考え行動できる子。(多数)
- 社会に貢献できる人、人に好かれる人間。(多数)
- 自分に厳しく、たくましく生きる子ども。(多数)
- 自分が立てた目標に向かって、それにふさわしいだけの努力と工夫ができる生徒。
- 困難や挫折に直面したときに 学習知や経験知を駆使して問題を解決、対処する選択肢を習得してほしい。
- 気の合う人ばかりではないのは当たり前ですが、多少の困難にぶつかっても自力で物事にぶつかって解決できる気持ちの強さを、小さい時から学んでほしい。
- 多様な見方考え方に触れ、未知のことにも積極的に取り組む子ども。
- 自分に自信を持つことを忘れずに地に足つけて未来を切り拓く子ども。
- ふるさとの魅力を存分に感じ取り、大きな希望を持って巣立って欲しい。
- 様々な情報が溢れているが惑わされず、自分でしっかり考え色々なことにチャレンジ出来る子ども。
- たくましい子ども。思いやりのある子ども。どんな環境でも自分らしく生きていける子ども。困難なことから逃げずに、立ち向かう子ども。
- 個人的な意見ですが、15歳時ではなく長い人生の中で7中ナショナリズム(7中に帰属しようとする感情、そして誇りという意味で)持って卒業して欲しいです。
- 地域を愛し、国を愛する子どもたれ。
- 人の気持ちを思いやり行動ができる優しい人になってもらいたい。また郷土への愛を持ち、親・先生・地域の方々に感謝の気持ちと尊敬を忘れない人になってもらいたい。
- 大正地域という大地の恵みと地域で生活される様々な人々のぬくもりを感じる中で、人を信じることの大切さを第一に考えられる人間性をもった子どもになってほしい。
- 他人に優しい心を持ち自分には厳しく又明るく元気で夢を持ち、未来への期待をもてるような子。